No. 297

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

国公立二次 英語の共通点と対策

国公立二次の英語は「書いて答える」問題が多い。和訳・内容説明・要約・英作文に共通する答案の型を身につけ、読めたのに点にならない失点をなくす。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 答案は要素で採点されると考え、書く前に入れる要素を数える
2. 設問の聞き方で文末が決まる。なぜ→～から、どういうこと→～ということ
3. 英作文は難しい英語より、ミスのない英語。日本語をかみ砕いてから書く

◆ よく出る形式と答案の型

大学・学部ごとに組み合わせが違う。志望校の過去問で、どの形式が何題出るかを最初に確認する。

形式	問われる力	答案の型
下線部和訳	構文の把握と自然な日本語	構文確定→直訳→日本語化
内容説明（日本語）	該当箇所を見つけ、要素を拾う力	要素を並べ、聞き方に合う文末で
要約（日本語・英語）	主張と根拠を残し例を捨てる力	「AはBだ。なぜならC」
和文英訳	日本語を英語にしやすく言い換える力	和文和訳→確実な構文で
自由英作文	主張を理由と具体例で支える力	主張→理由・具体例→結論
空所補充・整序など	文法・語法・論理の知識	根拠を持って選ぶ
リスニング（一部の大学）	要点の聞き取り	設問・選択肢の先読み

採点は「要素」で考える

多くの大学は細かい採点基準を公表していない。だからこそ答案は**要素ごとに点が入る（または減る）**ものとして作るのが安全。書く前に「入れるべき要素は何個か」を本文から数え、書いた後に全部入ったかを確かめる。字数の上限がある時は、具体例より主張・理由を優先する。

◆ 和訳の鉄則 4

☐ **1 構文→直訳→日本語化**

SVOCと修飾関係を確定し、構造どおりに訳してから自然に整える。いきなり意訳すると構文の取り違えに気づけない。

☐ **2 指示語は中身を補う**

「指示語の内容を明らかにして訳せ」（千葉大などで見られる形）では、it や this を具体的な内容に置き換える。指示がない時は、意味を変えない範囲で自然に訳す（勝手な補足は誤読扱いのおそれ）。

☐ **3 訳語は文脈で選ぶ**

多義語は辞書の第1義を機械的に当てず、前後の文とつながる語義を選ぶ。

> The company decided to address the problem at once.
> その会社はすぐにその問題に取り組むことにした。（address＝取り組む）

☐ **4 省略を補う**

比較の後や and の後の省略は、何が省かれているかを明らかにして訳す。

> She speaks French better than I do English.
> 私が英語を話すよりも、彼女はフランス語を上手に話す。

◆ 設問の聞き方→答えの文末

日本語で答える記述は、文末が設問に対応していないだけで減点されうる。

設問	文末	中身
なぜか・理由を説明せよ	～から。／～ため。	原因・根拠の要素
どういうことか説明せよ	～ということ。	比喩・抽象語を具体的な中身に言い換える
何を指すか答えよ	名詞で終える	指示語に代入して意味が通るか確認
筆者の考えを述べよ	～と考えている。	筆者の主張とその根拠
AとBの違いを説明せよ	AはXだが、BはYだ。	比べる軸をそろえる

◆ 内容説明・要約の手順 5

1. **設問の要求を確認**
   何について・何字で・何を答えるか（理由か内容か）に印。
2. **該当箇所を特定**
   下線部の前後だけでなく、段落全体や言い換えの箇所を探す。
3. **要素を書き出す**
   主張・理由・対比を短いメモで。具体例は字数に余裕がある時だけ。
4. **自分の日本語でつなぐ**
   本文の訳を並べず、因果・対比の関係がわかるように接続する。
5. **文末と字数を確認**
   設問に対応した文末か、字数の範囲内かを点検。

◆ 英作文の鉄則 4

☐ **1 和文和訳してから訳す**

「腑に落ちない」→「納得できない」のように、英語にしやすい日本語に直してから書く。主語を補い、論理の接続を明示する。

> His explanation did not convince me.
> 彼の説明は腑に落ちなかった。

☐ **2 自由英作文は設計してから**

主張・理由（語数に応じて1～2つ）・具体例・結論を日本語で1行ずつメモしてから書く。語数の範囲は必ず守る。

☐ **3 抽象テーマは具体例で**

「自由とは何か」のような問いは、身近な1場面を描いて主張を支える。

☐ **4 見直しの定番**

三単現・時制・冠詞・名詞の単複・つづり。この5点の点検だけで失点が大きく減る。

◆ 記述で減点されやすい答案 5

☐ ✕ ~~理由を問われて「～ということ。」で終える~~
○ 「～から。」「～ため。」で終える
設問の要求に答えていない

☐ ✕ ~~本文の訳をそのまま並べる~~
○ 要素を拾い、自分の日本語で関係をつなぐ
要素が散らばり、字数も超えやすい

☐ ✕ ~~比喩を本文の言葉のまま書き写す~~
○ 比喩が指す具体的な中身に言い換える
説明になっていない

☐ ✕ ~~英作文でうろ覚えの難しい構文を使う~~
○ 確実に書ける構文で書く
1つのミスで文全体の評価が下がる

☐ ✕ ~~語数を数えずに書き終える~~
○ 5語ずつ印をつけながら書く
指定範囲の外は条件違反になりうる

◆ 大学ごとの例（大学の公表と記事から）

同じ国公立でも形式は大きく違う。詳しくは各大学のチートシートで。

大学	特徴
東京大学	120分・120点。途中に30分程度のリスニング。要約・英作文・和訳など多形式
京都大学	120分。長文の和訳・説明、和文英訳、自由英作文の4題構成（近年）
千葉大学	80分。指示語を明らかにする和訳。大問3は形式が年で変わる（記事）
お茶の水女子大学	100分。英語による要約や説明を求める問題も出す（大学の出題方針）
埼玉大学	120〜150語の自由英作文（記事）。過去問を再利用する場合がある（要項）

◆ 直前の注意 3

☐ **1 添削を受ける**
記述は自分で採点しにくい。過去問の答案は先生に見てもらい、どの要素が欠けたかを確認する。

☐ **2 時間配分は過去問で**
記述は1問に時間をかけすぎやすい。大問ごとの上限時間を決め、超えたら次へ。

☐ **3 要確認**
形式・語数・試験時間は大学と年度で変わる。**志望校の最新の募集要項と過去問**で必ず確認する。

◆ 確認テスト

1 「なぜ筆者はそう考えるのか」と問われた時の文末は ＿＿＿ 。
a ～から。 b ～こと。 c ～である。 d ～ということ。

2 和訳で最初にすることは ＿＿＿ 。
a 字数を数える b 構文を確定する c 自然な日本語にする d 辞書を引く

3 We need to ＿＿＿ the issue of food waste.（取り組む）
a address b admit c adopt d adapt

4 要約で原則として捨てるのは ＿＿＿ 。
a 対比 b 主張 c 具体例 d 根拠

5 京都大学の外国語の試験時間は ＿＿＿ 。
a 90分 b 80分 c 100分 d 120分

◆ 解答

1 ～から。理由は「から・ため」
2 構文を確定する 構文→直訳→日本語化
3 address address＝（問題に）取り組む
4 具体例 字数を主張と根拠に使う
5 120分 大学の公表（令和8年度）

参考資料 原田英語「自由英作文書き方&テンプレート完全版」／原田英語｜千葉大学の英語を完全攻略 2027年入試の傾向予想と超絶対策法／原田英語｜埼玉大学 英作文・ライティング《超絶》完全攻略ガイド／東京大学｜令和8（2026）年度 東京大学入学者募集要項（前期日程）／京都大学｜令和8年度 京都大学入学者選抜要項／千葉大学｜令和8年度 一般選抜 学生募集要項／お茶の水女子大学｜令和8年度 一般選抜 学生募集要項／埼玉大学｜令和7年度 学生募集要項

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）